

台風 (たいふう)



毎年 (まいとし)、7月 (がつ) から10月 (がつ) ごろは、多 (おお) くの「台風 (たいふう)」が日本 (にほん) にきます。

台風 (たいふう) が来 (く) ると、強 (つよ) い風 (かぜ) が吹 (ふ) いて、たくさんの雨 (あめ) が降 (ふ) ります。

風 (かぜ) や雨 (あめ) で、電車 (でんしゃ) やバスが動 (うご) けなくなったり、電気 (でんき) が止 (と) まることもあります。

台風 (たいふう) が来 (く) るときには、次 (つぎ) の5つのことに気 (き) をつけましょう。

1. まず、テレビやラジオ、インターネットなどで天気予報 (てんきよほう) を確認 (かく) しましょう。

警報 (けいほう) や注意報 (ちゅういほう) がでたときは、とても危 (あぶ) ないので、気 (き) をつけましょう。

2. ベランダや家 (いえ) の外 (そと) に置 (お) いてある物 (もの) は、風 (かぜ) で飛 (と) んでいかにないように、家 (いえ) の中 (なか) に入 (い) れましょう。

3. 台風 (たいふう) が来 (く) ると、風 (かぜ) で木 (き) が倒 (たお) れたり、物 (もの) が飛 (と) んだりして、とても危 (あぶ) ないです。

建物 (たてもの) の中 (なか) に入 (はい) って、外 (そと) に出 (で) ないようにしましょう。

4. たくさんの雨 (あめ) が降 (ふ) って、川 (かわ) の水 (みず) が増 (ふ) えると家 (いえ) の中 (なか) に水 (みず) が入 (はい) ってくる場合があります。

飲 (の) み水 (みず) や食 (た) べ物 (もの) を持 (も) って、家 (いえ) の2階 (かい) へ逃 (に) げてください。

5. あなたのいる場所 (ばしょ) が危 (あぶ) ないときは、市役所 (しやくしょ) などから安全 (あんぜん) なところに逃 (に) げるようにお知 (し) らせがあります。

そのときは、動（うご）きやすい服装（ふくそう）で、近（ちか）くの学校（がっこう）などの避難場所（ひなんばしょ）に逃（に）げてください。

災害（さいがい）は、いつ、どこで起（お）こるかわかりません。

普段（ふだん）から、災害（さいがい）に対（たい）する準備（じゅんび）をしておきましょう。